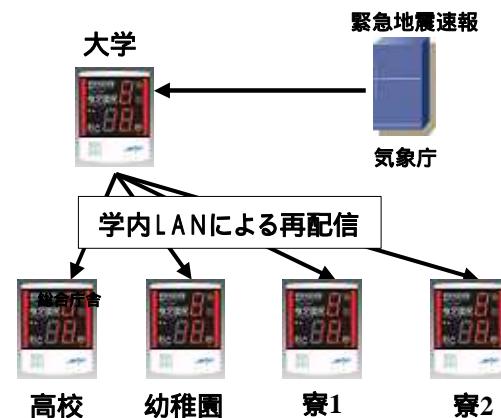


# 学校法人 郡山開成学園様

教育機関の安全を確保！

## 導入イメージ



受信ユニット



岩手・宮城内陸地震後、地震対策に取り組む。



壁に取り付けてある受信ユニット

株式会社カブトは、2008年8月、気象庁“緊急地震速報”受信システムを郡山女子大学(福島県)より受注した。郡山女子大学を営む学校法人郡山開成学園は、他にも、大学院、短期大学部、附属高等学校、附属幼稚園を有する伝統のある学園。システムは、官公庁をはじめ、教育機関で実績のある「ナウキャスト地震対策防災システムQCAST(キューキャスト)シリーズ」。女子大学の事務所に親機に位置づける緊急地震速報受信端末(S740)を設置し、学内LANを利用してランニングコストを大幅に抑える再配信機能により、その他4ヶ所の施設に設置した子機に位置づける端末で速報を受信し、学園全体をカバーする仕組み。耐震補強工事に力を入れてきた郡山開成学園では、平成15年度より開始した耐震改修6ヵ年計画に基づき、校舎等の耐震補強工事を実施しており、今年度でハードに関する整備が完了。担当者は「これからは緊急地震速報も活用しながら、ソフトの整備に力を入れていきたい」と言う。今年度は、文部科学省の「学校施設の防災機能強化の推進モデル事業」を受託しており、その一環として、今後は緊急地震速報を活用した防災避難訓練を目指しつつ、さらに、「避難所運営や防災教育の実践や地域連携に基づく総合防災力の養成など、行政及び地域防災組織と一致協力のもと学校施設の防災機能の強化を図っていく」と、意気込みを語る。